

Express5800/R120i-2M

本ページの内容は、限られた評価環境における検証結果に基づいた動作確認情報です。

なお、ハードウェアの導入・購入に関するご相談は以下にお問い合わせ下さい。

[ファーストコンタクトセンター](#)

記号の意味
◎…当該ディストリビューションで動作可能
○…当該ディストリビューションに最新ドライバ等を適用し動作可能
×…動作不可
―…未サポート
空欄…未確認

製品情報

型番	装置名称
N8100-2919Y	Express5800/R120i-2M [8x2.5型ドライブモデル]
N8100-2920Y	Express5800/R120i-2M [24x2.5型ドライブモデル]
N8100-2921Y	Express5800/R120i-2M [12x3.5型ドライブモデル]

ハードウェア構成

構成	ドライブ	構成概要
1	RAID	N8103-189 RAIDコントローラ(RAID 0/1, 専用スロット型, 標準ヒートシンクタイプ) 増設用 HDD
2	RAID	N8103-190 RAIDコントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6, 専用スロット型, 標準ヒートシンクタイプ) 増設用 HDD
3	RAID	N8103-191 RAIDコントローラ(4GB, RAID 0/1/5/6, 専用スロット型, 標準ヒートシンクタイプ) 増設用 HDD
4	RAID	N8103-195 RAIDコントローラ(RAID 0/1, PCIカード型) 増設用 HDD
5	RAID	N8103-201 RAIDコントローラ(2GB, RAID 0/1/5/6, PCIカード型) 増設用 HDD
6	RAID	N8103-237 RAIDコントローラ(4GB, RAID 0/1/5/6, 専用スロット型) 増設用 HDD
7	RAID	N8103-238 RAIDコントローラ(8GB, RAID 0/1/5/6, PCIカード型) 増設用 HDD
8	RAID	N8103-239 480GB OSブート専用SSDボード(RAID 1, PCIカード型) 増設用 HDD

※本装置のLinuxOSではオンボードRAID機能は使用できません。

※CentOSは項番6(N8103-237)は対象外となります。

動作確認

評価項目	結果	コメント
	構成1,2,3,4,5,6,7,8	
OSのインストール	◎	ディストリビューションのCD/DVDメディアから起動してインストール。(注1～3)
作成パーティション数	14	ドライブ全領域を使用。
ハードドライブ	◎	ファイルのコピー/比較動作を確認。
RAIDドライブの縮退動作	◎	I/Oアクセス、再起動を実施。
RAIDドライブの再構築	◎	I/Oアクセス、再起動を実施。
負荷ランニング	12h	各ドライブ、ネットワークへの連続負荷時間。
再起動	10	繰り返し回数。

(注1)RedHat Enterprise Linuxにおけるインストール後のアップデート手順

以下の手順でインストール後にアップデートを実施します。

Starter Packの適用

以下の手順でStarter Packを適用する必要があります。

Starter Packをマウントし、Starter Pack 内の packages 配下で以下のコマンドを実施します。

smartupdate deployコマンド実行中、次のエラーメッセージが出力される場合がありますが、特に影響ないため無視してください。

dracut[xxxxx]: Failed to install module qedr

dracut[xxxxx]: Failed to install module iavf

./clean-cache.sh

--> "Are you sure you want to delete SUM cache files?" の問い合わせには "y" を入力します。

--> "Press Enter to continue" の問い合わせにはEnterキーを押します。

./smartupdate --s --softwareonly --ignore_tpm --ignore_warnings

実施後、システムを再起動します。

※使用するStarter Packのバージョンは動作確認ディストリビューション一覧を参照願います。

(注2) CentOS 8.3インストール後のアップデート手順

以下の手順でインストール後にアップデートを実施します。

ドライバのアップデート

Starter Pack(S8.10-009.01)をマウントし、Starter Pack 内の packages 配下にある以下のパッケージをインストールし、システムを再起動します。

kmod-smartpqi-2.1.8-040.rhel8u3.x86_64.rpm

kmod-elx-lpfc-12.8.352.11-1.rhel8u3.x86_64.rpm

例) # rpm -ivh kmod-smartpqi-2.1.8-040.rhel8u3.x86_64.rpm

Starter Pack(S8.10-009.01) の適用

以下の手順でStarter Packを適用する必要があります。

Starter Packをマウントし、Starter Pack 内の packages 配下で以下のコマンドを実施します。

smartupdate deployコマンド実行中、次のエラーメッセージが出力される場合がありますが、特に影響ないため無視してください。

dracut[xxxxx]: Failed to install module qedr

dracut[xxxxx]: Failed to install module iavf

smartupdate add および smartupdate inventory の "--baselines"オプションの後は絶対パス(/media/cdrom/packages)を指定してください。

./clean-cache.sh

--> "Are you sure you want to delete SUM cache files?" の問い合わせには "y" を入力します。

--> "Press Enter to continue" の問い合わせにはEnterキーを押します。

./smartupdate add --baselines /media/cdrom/packages

./smartupdate add --nodes localhost

./smartupdate setattributes --nodes localhost rewrite=false downgrade=false firmware=false software=true

./smartupdate inventory --nodes localhost --baselines /media/cdrom/packages

./smartupdate deploy

./smartupdate shutdownengine

実施後、システムを再起動します。

ドライバのアップデート

サーバーにN8104-206/209、N8104-208/212、N8104-207/210/211が搭載されている場合は、以下の手順で個別適用してください。

各RPMファイルは、Starter Pack 内の /software/009/lnx_drv に格納されています。

・ N8104-206/209を搭載している場合

rpm -Uvh kmod-igb-5.4.6-1.rhel8u3.x86_64.rpm

・ N8104-208/212を搭載している場合

rpm -Uvh kmod-ice-1.2.1-1.rhel8u3.x86_64.rpm

・ N8104-207/210/211を搭載している場合

rpm -Uvh kmod-qlgc-fastlinq-8.55.5.0-2.rhel8u3.x86_64.rpm

(注3) CentOS 8.4インストール後のアップデート手順

以下の手順でインストール後にアップデートを実施します。

ドライバのアップデート

Starter Pack(S8.10-010.01)をマウントし、Starter Pack 内の packages 配下にある以下のパッケージをインストールし、システムを再起動します。

kmod-smartpqi-2.1.12-055.rhel8u4.x86_64.rpm

kmod-elx-lpfc-12.8.528.7-1.rhel8u4.x86_64.rpm

kmod-hp-igb-6.7.2-2.rhel8u4.x86_64.rpm

kmod-netxtreme2-7.14.80-6.rhel8u4.x86_64.rpm

kmod-qlgc-fastlinq-8.55.14.0-2.rhel8u4.x86_64.rpm

kmod-ice-1.6.4-1.rhel8u4.x86_64.rpm

例) # rpm -ivh kmod-smartpqi-2.1.12-055.rhel8u4.x86_64.rpm

Starter Pack(S8.10-010.01) の適用

以下の手順でStarter Packを適用する必要があります。

Starter Packをマウントし、Starter Pack 内の packages 配下で以下のコマンドを実施します。

途中で"Status:該当するコンポーネントが見つかりませんでした。"と出る場合がありますが、無視してください。

./clean-cache.sh

--> "Are you sure you want to delete SUM cache files?" の問い合わせには "y" を入力します。

--> "Press Enter to continue" の問い合わせにはEnterキーを押します。

./smartupdate --s --softwareonly --ignore_tpm --ignore_warnings

実施後、システムを再起動します。

■共通動作確認

評価項目	結果	コメント
X Window System の動作	◎	解像度 1280x1024 の表示、マウス・キーボードの機能。
標準LANポート	◎	sshでログインできる、ftpで100MBのファイルが転送できる。
CPUの認識	◎	cat /proc/cpuinfo にて、動作周波数、論理CPU数を確認。
メモリの認識	◎	cat /proc/meminfo にて総容量を確認。
光ディスクドライブ	◎	ファイルのコピー/比較動作を確認。
Flash FDD	◎	
シリアル・ポート	◎	設定を行うことで、コンソール出力が表示され、ログインできる。
マネージメントコントローラチップ リモートコンソール/リモートメディア	◎	・リモートコンソールでの表示/操作 ・リモートメディア(DVD/FDD)の認識・使用 ・リモートコンソール/リモートメディアを使用したインストール ※ご使用にはN8115-33「リモートマネージメント拡張ライセンス」の購入が必要です。

■動作確認ディストリビューション

ディストリビューション	使用Starter Pack	更新日	コメント欄
RedHat Enterprise Linux 8.3(KERNEL 4.18.0-240.el8)	S8.10-010.01	2022年1月26日	(注1)参照
RedHat Enterprise Linux 8.4(KERNEL 4.18.0-305.19.1.el8_4)	S8.10-010.01	2022年1月26日	(注1)参照
RedHat Enterprise Linux 8.5(KERNEL 4.18.0-348.el8)	S8.10-010.03	2022年6月1日	(注1)参照
RedHat Enterprise Linux 8.6(KERNEL 4.18.0-372.16.1.el8_6)	S8.10-010.05	2023年1月26日	(注1)参照
RedHat Enterprise Linux 8.7(KERNEL 4.18.0-425.10.1.el8_7)	S8.10-010.08	2023年11月27日	(注1)参照
RedHat Enterprise Linux 8.8(KERNEL 4.18.0-477.21.1.el8_8)	S8.10-010.09	2024年6月7日	(注1)参照
RedHat Enterprise Linux 8.9(KERNEL 4.18.0-513.5.1.el8_9)	S8.10-010.10	2024年11月22日	(注1)参照
RedHat Enterprise Linux 8.10(KERNEL 4.18.0-553.el8_10)	S8.10-010.11	2025年7月18日	(注1)参照
CentOS 8.3(KERNEL 4.18.0-240.el8)	S8.10-009.01	2021年11月26日	(注2)参照
CentOS 8.4(KERNEL 4.18.0-305.19.1.el8_4)	S8.10-010.01	2021年12月15日	(注3)参照

※CentOS Projectは、CentOS8が2021年でサポートを終了するというアナウンスをしています。